

平成26年9月9日 多文化施策懇話会

外国にルーツをもつ子どもたちの受入について

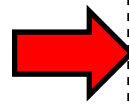
1. 本市の受入れ体制
2. 各学校における受入れ時の対応
3. 中学校卒業後の進路情報提供と
先輩や生徒との交流

1. 本市の受入れ体制 【「特別の教育課程」による日本語指導】

「『特別の教育課程』による日本語指導」

平成26年4月1日より実施

平成26年3月末まで
日本語指導は課程外で
ボランティアも可



平成26年4月1日より
日本語指導を**課程内**で
教員による指導が可

京都市では、来日後1年以内の児童生徒を対象

1. 本市の受入れ体制 【「特別の教育課程」による日本語指導】

「『特別の教育課程』による日本語指導」

平成26年4月1日より実施

日本語指導拠点校の設置 平成26年度の設置校
→ **日本語指導担当者が**、少数在籍校を巡回する。

【小学校】 12校

第四錦林小学校, 修学院小学校, 開晴小学校, 檜原小学校,
池田小学校, 小栗栖小学校, 日野小学校, 向島二の丸小学校,
向島藤の木小学校
醍醐西小学校, 小栗栖宮山小学校, 上鳥羽小学校

【中学校】 8校

栗陵中学校, 小栗栖中学校, 向島中学校, 向島東中学校,
春日丘中学校, 洛友中学校, 開晴中学校, 大原野中学校

1. 本市の受入れ体制 【「特別の教育課程」による日本語指導】

特別の教育課程による日本語指導を受けている児童生徒数

※2014年8月末現在(人)

	拠点校 自校指導	巡回指導	合計
小学校	14	15	29
中学校	6	4	10
合計	20	19	39

1. 本市の受入れ体制 【日本語指導ボランティア】

特別の教育課程による日本語指導終了後は？

日本語指導ボランティア



- 京都市国際交流協会に登録しているボランティア
- 原則として放課後の指導
- 年間52回が上限
- 国籍，来日後の年数に関係なく派遣可

1. 本市の受入れ体制 【通訳ボランティア】

保護者や本人との意思疎通はどうしているの？

通訳ボランティア



- 学校指導課人権教育担当に登録
- 授業中の通訳は不可
- 年間10回が上限
- ※ただし来日直後には10回分の別枠有
- 国籍，来日後の年数に関係なく派遣可

1. 本市の受入れ体制 【学生ボランティア】

授業中に母語による支援が必要な場合は？

学生ボランティア



- 教員養成支援室の学生ボランティア制度
募集と派遣は人権教育担当が行う
- 年間52回が上限
- 国籍，来日後の年数に関係なく派遣可

2. 各学校における受入れ時の対応 【日本語指導の手引】

「外国から子どもの
編入があります！」

学校指導課
人権教育担当に
連絡

「保護者と本人を交え
て面談をしましょう！」

人権教育担当
指導主事が
学校に連絡

初面談日程調整
通訳ボランティア手配

初面談日

2. 各学校における受入れ時の対応 【日本語指導の手引】

初面談日

学年担当が同席する場合も有

管理職・担当指導主事・通訳ボランティア・保護者・本人

○面談の内容

来日目的や今後の予定について聞き取り

日本語指導や通訳制度について説明

学校生活や記入が必要な書類等について説明

本人のこれまでの就学歴について聞き取り



学年・クラスや初登校日の決定

初登校日

通訳ボランティアが支援

- ・保護者，本人と学級担任の顔合わせ
- ・学校案内など
- ・昼食時間終了時まで，学校生活について説明



初登校日から1週間は支援可能(10回分)
特別の教育課程による日本語指導の開始
必要に応じて学生ボランティア派遣など

3. 中学校卒業後の進路情報提供と先輩や生徒との交流

多言語進路ガイダンス

☆「渡日・帰国青少年のための京都連絡会(ときめき)」によって始められた

平成24年度から、京都市教育委員会主催で開催

※京都府教育委員会, 京都府国際センター, 京都市国際交流協会が後援

平成26年度 多言語進路ガイダンス

日時 平成26年8月4日(月) 13:30~16:30

場所 京都市立東山開晴館

内容 ①中学校卒業後の進路について

②先輩生徒の体験談を聞く

③ 保護者 言語別グループ相談会

生徒 先輩生徒や他校の生徒と交流会

参加人数 生徒29人, 保護者24人, その他18人 合計71人

対応言語 中国語, 英語, フィリピン語, スペイン語, タイ語, ロシア語

3. 中学校卒業後の進路情報提供と先輩や生徒との交流

多言語進路ガイダンス

スタッフ

- ・学校指導課人権教育担当 5名
- ・学校指導課中学校担当首席指導主事 6名 ※グループ相談
- ・学校指導課高校教育担当 2名
- ・京都市中学校進路研究会の先生方 9名 ※グループ相談
- ・日本語指導担当者 10名 グループ相談と交流会
- ・京都府教育委員会人権教育担当, 高校教育担当 各1名
- ・通訳ボランティア 7名

アンケートより

- 生徒
 - ・高校のことを知ってよかったです。
 - ・先輩方の経験から得られるものが多かった。
 - ・なやみが少し解決できました。
- 保護者
 - ・保護者だけで、詳しく質問ができてよかった。
 - ・教育のこと、たくさん情報をいただいて、とても満足しています。
 - ・子どもたちの話をもっと聞きたいです。

平成26年9月9日 多文化施策懇話会

外国にルーツをもつ子どもたちの受入について



京都市教育委員会学校指導課 指導主事 大菅 佐妃子